

招 へ い 研 究 者 報 告 書				
招へい研究者氏名	西南交通大学 王 歆			
招 へ い 期 間	(西暦) 2024 年 6 月 19 日 ～ 2024 年 8 月 18 日			
受 入 機 関	社会安全学部			
受 入 担 当 者	所 属	社会安全学部	資 格	教授
	氏 名	山崎 栄一		
講演会実績 (本欄は国際部 HP にて公開します) ○研究者向け講演会タイトル：コロナ禍における市民生活について ○日時：2024 年 7 月 10 日 (水) 13:00-14:30 高槻ミューズキャンパス (西館) 6 階 M601 ○概要：未知なるコロナ渦において、感染力が強く世界中が人流の遮断を余儀なくされた。生活スタイルが変化した中での環境であった。そのような環境下での医療従事者の苦労も計り知れないものであった。それらを踏まえ今回の発表内容として、1. コロナ禍での若者、2. コロナ禍での企業への影響及び政府から企業に対する支援政策、3. コロナ期間中の医療従事者への敬意、の 3 つの切り口で講演した。 研究者向けの講演会においては、社会安全学部の教員ならびに社会安全研究科の院生と講演後に活発な意見交換が行われた。 ○学生向け講演会タイトル：コロナ禍における市民生活について ○日時：2024 年 7 月 11 日 (木) 13:00-14:30 高槻ミューズキャンパス (西館) 4・5 階 ミューズホール ○概要：未知なるコロナ渦において、感染力が強く世界中が人流の遮断を余儀なくされた。生活スタイルが変化した中での環境であった。そのような環境下での医療従事者の苦労も計り知れないものであった。それらを踏まえ今回の発表内容として、1. コロナ禍での若者、2. コロナ禍での企業への影響及び政府から企業に対する支援政策、3. コロナ期間中の医療従事者への敬意、の 3 つの切り口で講演した。 学生向けの講演会においては、講演後に感想文を各学生に記入してもらったが、中国特有の体験談に対して感銘を受けた学生が多数見受けられた。				